

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン 別売部品
コネクタ付ケーブル取付説明書

室外機デマンド用 TCB－KBDM2
室外機夜間低騒音用 TCB－KBYT1
室内ファン連動用 TCB－KBSR1

【工事業者様用】

- このたびは東芝パッケージエアコン用別売部品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。

安全上のご注意

- 取り付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

警告

「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。

注意

「誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

※1: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※2: 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

- 取り付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされて不備があると、火災・感電・けがの原因になります。
- 取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行う
取り付けに不備があると、感電や火災の原因になります。
- 再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼する
取り付けに不備があると、感電や火災の原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および
この取付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する
また、電圧は製品の定格電圧と合わせる
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電や火災の原因になります。

注意

- 配線は、正しい電流容量の配線で工事する
漏電や発熱・火災の原因になります。
- 配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子
接続部にケーブルの外力が伝わらないようにする
断線したり、発熱・火災の原因になります。
- 基板本体に無理な力を加えない
折れ・はがれ・断線が発生し、発熱・火災の原因になります。

- 取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

構成部品

1 梱包 10 本入りです。使用数量は 1 台各 1 本です。

	TCB－KBDM2	TCB－KBYT1	TCB－KBSR1
コネクタ付ケーブル	10	10	10
取付説明書（本紙）	1	1	1
対象機種	室外機	室外機	室内ユニット
	ROA-AP561HS～ AP1601HS ROA-AP801H～ AP1601H	ROA-AP561HS～ AP1601HS ROA-AP801H～ AP1601H	●天井カセット形 4,2,1 方向吹出し AIU-AP**H、WH、SH MMU-AP**H、WH、SH、YH ●天埋形 ビルトイン、ダクト AID-AP**BH MMD-AP**BH AID-AP**H MMD-AP**H ●天吊形 AIC-AP**H MMC-AP**H ●壁掛形 AIK-AP**H MMK-AP**H ●床置形 スタンド、サイド、ローボーイ埋込 AIF-AP**H MMF-AP**H AIL-AP**H MML-AP**H、BH ●厨房用天吊 AIC-AP**PH MMC-AP**PH
用途	外部からのデマンド 信号により、室外機 の運転を停止し一時 的なピークカットに 対応します。	市販タイマー（現地 手配）の入力により 外気温、負荷に関係 なく能力を低下させ 運転音を低減します。	室内ユニットの運転に連動して全熱交換ユニットまたは 換気扇を ON－OFF させる場合に対応します。

■ 室外機または室内ユニット制御基板の接点入力方法

		TCB-KBDM2デマンド用	TCB-KBYT1夜間低騒音用	TCB-KBSR1室内ファン連動用
制御基板への接続先		室外機・CN607	室外機・CN606	室内ユニット・CN032
基板接点 状態	通常運転 (工場出荷時)	接点開放	接点開放	—————
	コントロール運転	接点短絡 圧縮機と室外ファンは停止します。	接点短絡 夜間低騒音運転が可能です。	—————

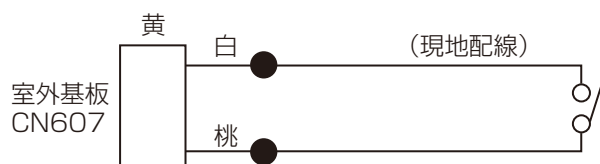
■接点入力・接続線仕様

接点入力	無電圧接点方式
接続線仕様	シース付2芯ビニルコードまたは2芯ケーブル 配線太さ:0.75~1.25mm ² 配線長さ:70m以下

■ 取付方法

[1]TCB-KBDM2 の場合

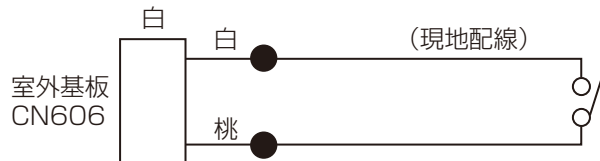
室外機制御基板と現地手配の市販リレーまたは市販タイマーに接続します。



*市販タイマー オムロン H5L デイリータイムスイッチ等
(無電圧接点出力)
市販リレーまたは市販タイマー
ON:デマンド運転
OFF:通常運転

[2]TCB-KBYT1 の場合

室外機制御基板と現地手配の市販タイマーまたは ON - OFF 切換スイッチに接続します。



(無電圧接点出力)
市販タイマーまたはスイッチ
ON:夜間低騒音運転
OFF:通常運転

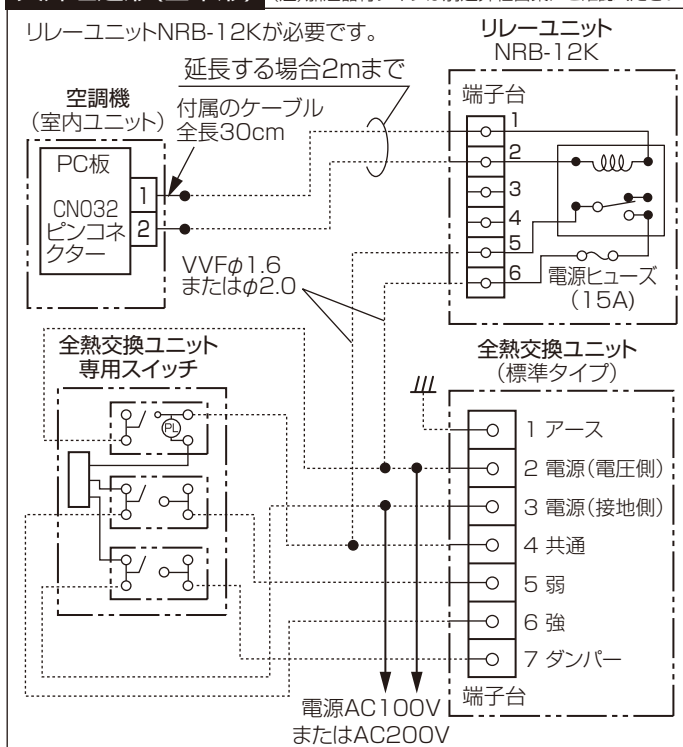
[3]TCB-KBSR1 の場合

①室内制御基板と全熱交換ユニットを接続します。

1. 標準タイプ全熱交換ユニットとの結線（室内ユニットからの信号は DC12V 仕様です）

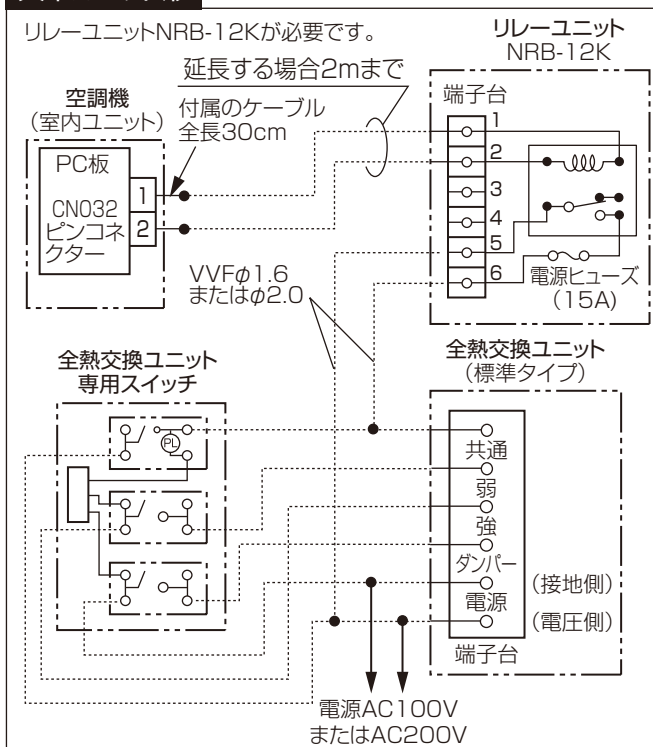
天井埋込形(基本形) (注)加湿器付タイプは別途弊社営業にご確認ください。

(注)加湿器付タイプは別途弊社営業にて確認ください。



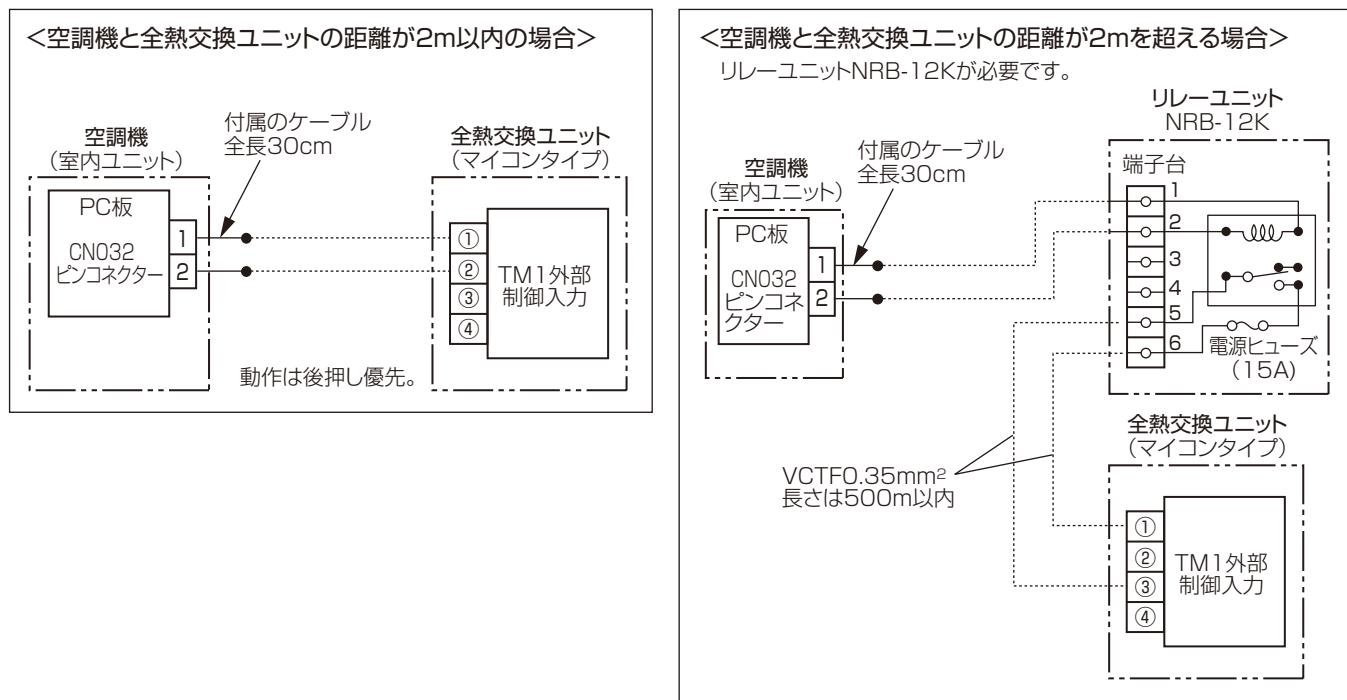
天吊カセット形

リレーユニットNRB-12Kが必要です。



(破線 ----- は現地配線)

2. マイコンタイプ全熱交換ユニットとの結線



動作は空調機の ON・OFF 連動することを基本とします。

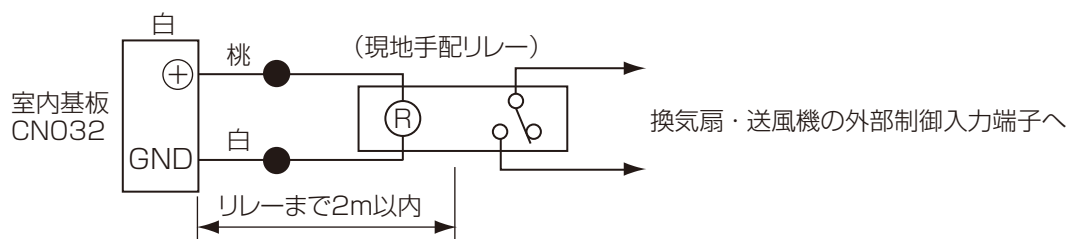
(全熱交換ユニットの専用 SW を OFF にすることで連動します。)

空調室内ユニットが OFF の場合、空調機用リモコンの換気ボタンで単独運転が可能です。(設定変更が必要です)

※空調機に外気導入する場合は、必ず ON — OFF 連動してください。

空調機SW	ON	ON	OFF	OFF
全熱交換ユニットSW	ON	OFF	ON	OFF
全熱交換ユニット	運転	運転	運転*	停止

②室内制御基板と換気扇・送風機を接続します。



	電圧	DCファンモータ機種	ACファンモータ機種(注1)
Ⓡ リレー仕様 (現地手配)	DC12V	定格電流75mAのリレーまで 対応できます。	定格電流16mAのリレーまで 対応できます。

(注1) ACファンモータ機種は下記の通りです。

MMU-AP**1WH, 1WHR
MMU-AP**YH
AID-AP**1BH
AID-AP**1H(-1)
AIF-AP**H
AIL-AP**H
AIC-AP**PH
MMD-AP**H
MMF-AP**H
MML-AP**H, BH
MMC-AP**PH

■リモコンからの全熱交換ユニットまたは換気扇の単独運転操作方法

[機能]

室内制御基板に全熱交換ユニットまたは換気扇を接続することにより、下記の運転が可能になります。

- ①室内ユニットの運転に連動して、全熱交換ユニットまたは換気扇を ON - OFF する（出荷時設定）
- ②ワイヤードリモコンの換気ボタン操作により、全熱交換ユニットまたは換気扇を ON - OFF する（設定変更が必要です）

ワイヤードリモコンから換気扇を操作する場合の設定方法

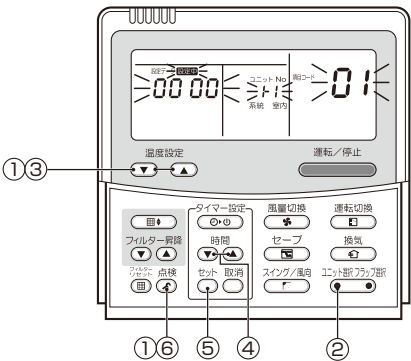
ワイヤードリモコン RBC-AMT32 または、RBC-AMT31 をお使いの場合

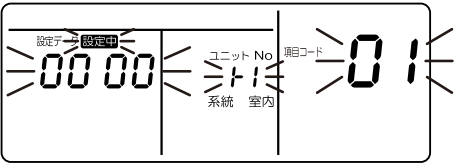
手順③の項目コード [**] および手順④の設定データ [****] は下表の数値です。

項目コード	設定データ	全熱交換ユニットまたは換気扇の運転操作
31	0000	単独運転できない(出荷時)
	0001	単独運転できる

設定切り換えの基本操作手順

運転停止中に設定の変更を行います。
(セッとは必ず運転を停止させてください)



手順	操 作 内 容
①	「点検」 + 温度設定「▼」 ボタンを 4 秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように点滅します。 表示された項目コードが [01] になっていることを確認してください。 ●項目コードが [01] 以外の場合は、「点検」 ボタンを押して表示を消し、最初からやり直してください。（「点検」 ボタンを押した後、しばらくはリモコン操作を受け付けません） （グループ制御の場合、最初に ALL が表示されます。「ユニット選択」 ボタンを押したとき、ALL の次に表示される室内ユニット No が親機となります。）  （※室内ユニットの機種で表示が変わります）
②	「ユニット選択」 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示しますので、設定を変える室内ユニットを選択します。 このとき、選択された室内ユニットのファンおよびフラップが作動しますので設定変更する室内ユニットの位置を確認できます。
③	温度設定の「▼」 / 「▲」 ボタンで、項目コード [**] を指定します。
④	タイマー時間の「▼」 / 「▲」 ボタンで、設定データ [****] を選択します。
⑤	「セット」 ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了となります。 ●選択した室内ユニット以外のセットを変更したいときは、手順②から行います。 ●選択した室内ユニットの別の設定を変更したいときは、手順③から行います。 「取消」 ボタンを押すと、今まで設定した内容をクリアできます。この場合は、手順②からやり直しとなります。
⑥	設定が終了したら「点検」 ボタンを押します。（設定が確定する） 「点検」 ボタンを押すと設定中が点滅しその後、表示が消え通常停止状態となります。 （点検ボタンを押した後、設定中が点滅している間はリモコン操作を受け付けません） 